

広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

六月三日(金)・四日(土)

午前九時半・午後二時より

永代祠堂経法要

※ 昼食にお齋を用意しております

今号の法語

一々の菩薩身、
その眷属は
無量に等し



今号の内容

- ・仏事のQ&A く絵と字の仏様についてく
- ・千夏のきときと日記スタート!
- ・笑いヨガを楽しみましたく仏婦の集い

この法語は、七高僧のお一人である善導大師の『帰三宝偈』に依つたものです。葬儀の際に一番最初に勤められる、「道俗時衆等」で始まるお経が『帰三宝偈』です。

眷属とは、親族・身内のこと。私たちが生まれさせていただく阿弥陀さまのお浄土には、親族・身内が無限にいる、ということ。つまり、お悟りの世界であるお浄土では、全員が家族・兄弟である、と仰るのです。

私たちは皆、名字を名乗り、自分の家・他人の家を分け、生きています。言い換えれば、自分・他人とに分け、本質的には、自分に都合の良い人・悪い人とに分け、都合良く生きているのが私です。

この世界の真実であるお悟りに目覚めた仏さまは、私たちが自分勝手なものの方から離れ、皆を眷属として受けとめていく真実の生き方を、私たちに願っておられるのです。

仏事の疑問 Q & A

質問 絵の仏様と字の仏様は

違う仏様なのですか？

皆さんのお仏壇におられるの仏様でした」という方もおられると思います。

浄土真宗のご門徒の方でしたら、もちろん「阿弥陀様！」と答えてくださると思います。

ですが、ちよつと待つて下さい。その仏様はどんな仏様ですか？「絵に描いてある仏様です」という方もおられるでしょう、「うちの南無阿弥陀仏の字の仏様や」という方もおられるでしょう。中には「木像



度差はあるのでしょうか？
答えは、程度の差など全くない、皆同じ阿弥陀様です。

そもそも、親鸞聖人は、阿弥陀様の真実のお姿について、「色もなく形もない。ですから思い

南無阿弥陀仏



名号本尊(字の仏様)

はかることもできないし、言葉でも言い表すことなどできない。」と仰つておられます。しかし、私たちにとつて仏様が思いはかることも言い表すこともできないままであったのなら、どうして私たちは仏様を知ることができたのでしょうか？

それは、阿弥陀様が私たちに分かるように様々な姿になられたからでした。つまり、阿弥陀様のおはたらきを示しているのが、絵像や名号(字の仏様)・木像などのご本尊なので、仏様のおはたらきについて、絵像・木像では見て伝わるように、名号では読んで伝わるように、「姿」とつて仏様が表され

最後にもう一つ。私たちがと念仏。これもまた阿弥陀様のおはたらきが私の口からで

聖人は仰つておられます。

様々に私に向かつておはたらきくださる阿弥陀様。そんな阿弥陀様の真つ直ぐな願いに、私たちもまたしつかりと向き合つていくようにしたいものですね。

ななもなみだあんぷー



千夏のきときと日記

今号よりコーナーをいただくことになりました若坊守の千夏です。日常のささいな出来事や感じたことなど書いていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いします。

さて、今回は四月十七日の強風についてです。富山県ではあまり体験することがなかつた強風で被害に遭われた方もいらつしやつたと思います。お見舞い申し上げます。

この広濟寺でもテレビ等で報道された光景を見ました。イチョウの木に大きな黒マルチビニールが何枚もひっかかつていたことです。未だにひっかかつてい



るので相当の強風で絡まったことが分かりました。そしてその強風の後は、掃除の日々が始まりました。この掃除をしながら、先日坊守から見せていただいた『仏教こども新聞』のお話(マンガ)を思い出しました。

昔インドで掃除をしながら悟りを開いたといわれる周利槃特(チューラ・パ

ンタカ)というお坊さんのお話です。このお坊さんは自分の名前さえ覚えられないので、物を覚えるのが苦手だったそうです。そこでお釈迦さまは彼に一本の箒を手渡され、



「チリを払おう、アカを除こう」と唱えながら掃除をなさいと教えました。周利槃特はたまに忘れそうになりながらも、お釈迦さまに教わった通り直向きに唱えながら何

十年も掃除をし続け、汚れが落ちにくいは人の心も同じだったと悟られたのでした。私もこの気持ちを忘れず、皆さまからお預かりしている広濟寺の掃除とこのコーナーをやり続けていこうと思いました。三日坊主という言葉に負けませんように…。

笑いヨガの様子 世界共通の「イエーイ！」



笑いヨガを楽しみました！ 〜仏教婦人の集い〜

四月二十三日(土)午前十時半より広濟寺仏教婦人の集いが開かれました。

午前の部は「笑いヨガ(ラフターヨガ)」。小矢部から先生をお呼びし、初めての笑いヨガを皆で楽しみました。今、

笑いヨガは日本はもちろんのこと、世界中でどんどん広まっているのだそうです。笑い

ヨガにおける世界共通の掛け声「イエーイ！」を皆で叫び、広濟寺にもインターナショナルな風が元気いっぱい吹き込んだ瞬間でした。

昼食を頂き、午後の部は勤行・法話。正信偈草譜をお勤めし、妙蓮寺の増山孝啄先生のお話を聴聞しました。午前の笑いヨガと同じく、午後からも笑いながら仏さまのお話をゆつくりお聞かせいただきました。

年に一度のこの集い。来年も開催したいと思っておりますので、是非皆さんご参加ください。

さいね！仏さまのおられるお寺でゆつくりと一日を過ごしてみませんか？

お知らせ

二〇一六年

永代祠堂経法要

六月三日(金)・四日(土)

午前九時半より

午後二時より

御講師

五位組 教願寺

岡西 法英 師

広濟寺護持委員会

七月十七日(日)

午後二時より

※例年より一カ月前めさせていただきます。

広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

編集後記

さて今回から始まりました若坊守『千夏のきときと日記』は如何だったでしょうか？

この新コーナー名については、家族のなかでも色々面白いアイデアがでました。中でも、在家から嫁ぎ、未知のお寺での生活をがんばってくれている若坊守がお寺の暮らしを紹介するコーナー『千夏のこんなはずでは！』もキャッチーでしたが、結局はマジメな題名に落ち着きました。

内(お寺)の世界にずっといる人には見えないものでも、外の世界から入った人だからこそ見えてくるものがあると思えます。新コーナーでは、若坊守の目線から見たお寺での日常を綴ってくれます。これからも末永い応援を宜しくお願い致します。